

# イブヌ・ハディ氏

在大阪インドネシア共和国総領事館総領事

中国、インド、米国に次いで世界第4位の人口をもつインドネシア共和国。1万数千もの島々からなり、なかでもバリ島は「最後の楽園」として世界中から観光客が訪れる。関空からも毎日直行便があり、関西在住者にとっては身近な海外リゾート地となっている。昨年1月に赴任されたイブヌ・ハディ総領事を訪ね、インドネシアと日本の文化交流などについてお話しいただいた。

## 2008年、正式外交50周年記念事業を開催

1958年、日本とインドネシア両国は「日本とインドネシア共和国との間の平和条約」および「両国間の賠償協定」に署名し、正式な外交関係が始まりました。2005年には「新たな挑戦へのパートナー」という両国の共同声明が発表され、以後、「平和で繁栄する未来へ向けての戦略的パートナーシップ」のもと両国関係をさらに高度な次元へ発展させることを表明し、経済面のみならず、文化・人物交流の面で幅広い友好協力関係を構築してきました。

その50周年の節目に当たる2008年は、幅広い分野での長年の友好関係をさらに強化する絶好の機会として、次の半世紀に向け、両国国民の交流と世代を超えた相互理解を拡大し、深化させることを目的に両国でさまざまな記念事業を行いました。大阪では中之島の中央公会堂で盛大な交流行事が行われました。

## 日本のアニメ・マンガは若者に人気

そうした友好関係への努力の結果、インドネシア本国において、日本の文化は広く知られるようになりました。日本のアニメや漫画は若い人たちにとても人気があります。日本食レストランも増え、高級店からリーズナブルなお店まで、いろいろな日本食を楽しめます。大阪に観光で訪れるインドネシア人も増え、USJや大阪城が人気の観光スポットになっています。

私は1996年に経済担当領事として4年間、大阪に在任しました。今回、2度目の在任ですが、大阪は大好きですね。町全体に活気があって、ビジネスの動きが活発です。そして、大阪の人たちが素晴らしい。明るくて、フレンドリーで、ウォーム・ハート……さまざまな所で出会う大阪の人たちの印象です。食べものも美味しいですね。天ぷらも好きですし、鉄板焼きの神戸肉の味わいは最高です(笑)。

## 観光・経済・教育の交流を深めたい

そうした経験から、私は大阪とインドネシアの関係をもっと深めたいと考えています。第一に観光ですが、インドネシアは、ダイビングやエコツーリズム、文化、芸術など、都市や地方それぞれに特徴ある伝統や文化、観光が楽しめます。ガムラン音楽や影絵芝居、パティック、ふたつの世界遺産をもつジョグジャカルタや、オランウータンが生息するカリマンタン島など、バリ島だけでなく、インドネシア各地に来ていただきたいですね。

次に経済的な交流です。インドネシアに進出する関西の企業も増えてきましたが、両国をビジネスで交流する人がもっと増えてほしいと願っています。

3番目は教育面です。日本の文部科学省は、2020年为目标に留学生を30万人まで増やそうと計画し、大学の国際化を図るグローバル30(G30)という日本への留学奨励プロジェクトを開始しました。日本の13大学で英語授業で勉強できる取り組みが始まりました。また、インドネシアのダンスを学ぶために日本からも留学生が来ています。私はこうした3つの側面から今後ますます両国の交流が深まることを願っています。

## イブヌ・ハディ(Ibunu Hadi)氏

1960年インドネシア・リアウ州生まれ。1986年インドネシア大学経済学部卒業、1990年オーストラリア・マコーリー大学経済学部修士号取得。1986年インドネシア外務省入省。1991年在香港総領事館・経済担当副領事、1994年外務省財務投資協力部次長、1996年在大阪総領事館経済担当領事、2000年外務省APEC調整担当次長、2002年駐米大使館経済担当参事官、2005年外務省アジア太平洋アフリカ地域協力部部長を歴任。2010年より現職。

